

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第3回 常任理事会

日時：2014年 3月 12日（水）19：00～21：56

場所：コンセーレ J Cルーム

出席者：

- (理 事 長) : 村上(敬称省略 以下同)
(直 前 理 事 長) :
(顧 問) :
(副 理 事 長) : 朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧、須山
(専 務 理 事) : 中島(崇)
(監 事) : 黒川、澤畑
(担 当 常 任 理 事) : 林、金
(全国大会招致会議議長) : 羽石
(会員拡大会議議長) : 太城
(協働連携特別会議議長) : 篠崎(達)
(法令会計審査会議議長) : 宮林(代理)
(事 務 局 長) : 橋本

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)
2. J C I クリード唱和 <篠崎>
3. J C I ミッション並びに J C I ビジョン唱和 <橋本>
4. J C 宣言朗読並びに綱領唱和 <羽石>
5. 関東地区宣言唱和 <金>
6. 出席者の確認 <橋本>
出席理事名 13 / 14 名
7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>
8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>
9. 議題並びに資料の確認 <橋本>
10. 理事長挨拶 <村上>

まずは、定刻どおりお集まりいただきました皆様に関しては本当にありがとうございます。また今日もあたり前の様にしかりとした設営をしていただいております総務委員会の皆様、本当にありがとうございます。総務委員会でありますけれども今年からアジェンダシステムの構築をしていただいております。この議案をアジェンダシステムにアップする、これは非常に会議を進行するにあたって、差し替えもウェブ上でできるものですから、非常に使い勝手がよいものであるわけでありましてけれども、総務委員会の皆様には結構面

倒くさい作業だったりするのです。そういった所をしっかりと各ラインの、特に議長、委員長の皆様には総務委員会のこの大変な作業を考えながら、しっかりと議案の方を、なるべく差し替え等無いようにきっちりとした形であげていただきたいなという風に思った次第であります。

そして昨日3月11日を迎えたわけであります。先週末は福島の地で復興創造フォーラムがあったわけでありますけれども、久しぶりに被災地の視察をさせていただいて非常にショッキングであったわけであります。福島の、特に今原発で規制がかかっている区域は本当に3年間時間がとまったままであります。線路には草が本当に生えていて壊れた建物がそのままだったり、きつと3年前に新築したばかりという建物にも人が住んでおりませんでした。ただ今は場所によっては車だけが通行できるので、福島に行ったメンバーには是非、被災地をみて来てほしいというお願いをし、皆見に行ってくれていたようではありますが、本当に現地におりたたないと感じないことがすごくあるなということも今回自分でも感じました。連日報道等で被災地の映像というのはみるのですけれども、あの場におりたった時に感じる空気感、本当に久しぶりに何も口から声が出ず、帰りの車の中で専務と一緒にいたのですけれども、殆ど会話がないうつ状態、それぞれ専務もいろんなことを考えていたと思うのですけれども、私もいろんなことを振りかえりながら思いました。また宇都宮に戻ってきましたら、やはり清原地区を中心に全壊した建物がありました。我々も瓦礫撤去に行ったりもしたわけですが、東北がやはりクローズアップされるわけですが、この宇都宮も被災をしていて、家が全壊した人たちというのはどうしているのかなという風なことを考えていたわけであります。私も今日、家の掃除をしていたところ、クロスがあっちこち破れているわけですね。家の中のボードが地震でずれて亀裂が入っているようなところが実はたくさんあるのですけれども、直そうかなと思っていたのですけれども、やはりこれを直すのはやめようと思いました。この傷跡というのはやはり覚えておかないといけないうかなという風に思いますし、それをやはり思い出すことが必要なのかなと、そんな風に思いながらここ数日を過ごしているわけです。被災地の方に行けなかったメンバーの方は、仕事の支障等あったでしょうから、是非近いうちに来れると思いますし、また今年はまだJCと連携した活動をしているわけでありますので、金常任、木村委員長をはじめとしてだてJCに今月も来月も行くという話も聞いていますので、是非、被災地の方にも心を寄せて、今何が問題なのかを是非考えていただきたいなという風に思います。

そして本日ちょっとお話がしたいなと思っていたのは、委員会によってすごく活力がみなぎっていてJCやっているなというところと、あまりそういうのを感じないところの差を実はすごく感じております。事業が直近で議案があるところは、もちろん忙しい毎日を過ごされていたり、委員会も毎週何度も開催をして頑張っていたりしているわけですが、思い出していただきたいのは予定者の時に事業計画、そして年間のフローチャートを作りましたよね。各常任理事の皆様におかれましては、担当の委員会の委員長、議長に是非確認していただいて、1月、2月、3月と、自分たちが書いたフロー通りに進んでいるかどうか、そういったことを、是非しっかりとご確認いただきたいなという風に思ったわけでございます。対外事業もこれからどんどん出てまいります。たくさんの方を巻き込む事業が控えておりますので、是非しっかりと、みなさんが導いてあげていただきたいなと思います。

結びとなりますけれども、最後に一つだけ漫画の話をしたと思います。僕が大好きな漫画で将太の寿司という漫画があるので、将太は修行先のお寿司屋さんでお弁当を作るという話で、800人分のお弁当を作るのですが、最後のいくつかのネタが切れてしまいます。800人分の内の10個か20個、具が種類少なくてもいいやと、違う弟子の人が巻いてしまったわけです。そしてそれを親方がみつけ叱りとばすわけです。なんで叱りとばしたかという、これは当たり前なのですが、その握り手からすれば800分の10なのですが、食べる人からすれば1分の1なのです。これはJCの事業でもそうなのですが、たとえばわかりやすくすればわんぱく相撲、これ300人ほど集め

るこちら側からすると300分の1でも、こどもからしたら今年1回かぎりのわんぱく相撲なのです。たとえば1000人呼ぶ講師例会だとしても、こちらからすると相手は1000人ですけれども、市民の人はその一回かぎりが一生に一回できるかどうかなわけであり、是非対象の人、市民ですね。その人たちが一生に一回JCを通してかけがえのないものを感じられる貴重な機会があるということ、是非、皆さんしっかり認識をさせていただいて、一つひとつ細かいところまで丁寧に事業を積み上げてほしいという風に思います。

1.1. 直前理事長挨拶

欠席のため割愛

1.2. 役員報告

- <橋本> 明日、夜7時よりこちらコンセーレの小ホールにて議案作成セミナーを開催します。こちらは現在議案を作成する立場であります委員長、議長の皆様はもちろん、今後のLOMを担っていく人材の皆様には是非参加していただきたいと思っております。村上理事長に講師を務めていただき、非常に精度の高い議案の作り方を学べる機会でもありますので、何卒皆さんご参加をお願いいたします。
- <篠崎> 関東地区協議会からですが、3月1日の役員会で関東地区フォーラムが審議を通過しましてそちらの方のご案内です。4月26日の土曜日に東京の新橋ヤクルトホールで開催する運びとなりました。詳細につきましては改めてPRという形で委員会の方へお邪魔するかと思っておりますので宜しくお願いいたします。
- <村上> 昨年APDCの事務総長をさせていただいたわけですが、今年はASPAC、APDCの40周年を迎えるということで、APDCの40周年記念フォーラムを開催することになりました。歴代のオフィサーはみんなでフォーラムを企画設営することになりまして、私がフォーラムの責任者で実は議案も書いています。現地調査もしているわけなのですが、6月6日午前10時から山形テルサという場所で開催をいたします。JCの運動というのがいかに国を変えたか、地域を変えたかというのを、フォーラムでしっかりとした形でおみせしたいと思っておりますので、是非、今から予定を入れていただいて、山形で宜しくお願いいたします。
- <中島(崇)> 3月25日のプレゼンターセミナーですが、こちらはまだ定員にたっていない状況です。あと数名登録できますので引き続きお誘いをいただきたいと思います。それと4月2日の9時15分より、理事長が栃木テレビの『トップに聞く』というコーナーの中でご出演をし、LOMの紹介や今年度の宇都宮JCという視点でのインタビューを含めたご出演ということでおみ知りおきをいただきたいと思います。それから4月17日に拡大公開委員会を19時より予定しております。

1.3. 協議事項

協-01 1月例会 新春交流会 開催報告並びに決算(案)について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

- <林> 挨拶してもばらつきがあったということですが、挨拶に回る時に先方の顔がわからなくて声を掛けたくてもなかなか掛けずらかったという話もありましたので、私もわかる範囲で伝えることができましたが、わからないところもやはり多々あったという話もありましたので、難しいかとは思いますが顔がわかるような準備ができるとより挨拶がしやすいと思います。
- <篠崎(達)> よい報告されているとおもいます。
- <羽石> 実施上の運営での問題点として、毎年出てしまうホテル側での案内ですが、私がやった時も同じようなことがおきてしまいましたので、次年度以降しっかりと引き継ぎをしていただければと思います。
- <朝田> 予算の所で質問ですが、通信費の所で返信はがき代が予算より倍以上掛かっているのですが、この予算を具体的にあげてもらってもよろしいでしょうか。
- <橋本> こちら委員会に持ち帰ってみなおします。しっかりと次年度に引き継ぎたいと思っております。
- <村上> いろいろあるのですが、事業目的にたっしていなかった点で、本質的に交流すべき人と交流ができませんでしたとありますが、ここでいう本質的とは何でしょうか。
- <橋本> 表現方法が稚拙な所ではあるのですが、議長、委員長が挨拶式に出ていないという所以以外にも目先の事業報告だけではなくこういった所もひっくるめて本質的な所という点できたのではないかなと思います。
- <村上> 多分書いてしまった方がいいと思います。来年担当する人がみたときに具体的にどういう失敗だったのかわかる様な書き方の方がいいと思います。それと議案上順番がありました、理事長挨拶所信表明があってその前に映像が流れてという順番が目的の達成するベストな順序だったのかという検証はしましたか。
- <橋本> まだしてないです。
- <村上> 順番的なものでも違うと思うのです。僕今年いろんな賀詞交換会に行きましたがみんな違うのです。これ僕もすごく申しわけなかったのですけれども、気づいてあげられなかった着座の件も含めてこういう順番の方がいいかもしれませんという様な提案的な記載をしておいていただきたいと思うのと、引き継ぎ事項で議長、委員長の発表が不評だったというのなら、どういう発表方法だったらよかったのか、今年担当した人たちだからこそ考えられる方法を、是非来年のために記載をして欲しいのです。もっと踏み込んだ形でこうした方がよかったという様なことを是非記載していただきたいと思います。最後に前回の委員長意見、前回のお礼状というか感想文的な感じになってしまったのですけれども、しっかりと今年担当した委員長が感じて、この新春交流会というものがどういうもので、さらにこの

事業を消化させるためにはどうしたらいいのか、しっかりとした議長の運営面も含めた形でもう少し精査していただきたいと思います。

協-02 第109回通常総会 開催報告並びに決算（案）について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

- <中島(崇)> 事業決算のリンクが3箇所飛んでいませんので修正をしてください。それからタイトルの『2014年度』これはいらぬです。第109回通常総会から資料の方修正してください。
- <金> 委任状回収が4名されなかったということですが、海外に行った等とありますが、この4名は海外に行っていた以外はどういった原因だったのですか。どういう理由で回収できなかったのかを教えてくださいたいと思います。
- <橋本> 海外に行っていたメンバーと連絡が取れなかった。電話で連絡が取れば直接委任状を書いてもらうことを前日まで準備していたのですが、結局のところ総会まで連絡が取れず委任状回収ができなかったというところ。紹介者もいますので、もう少し早い段階から動いて連絡をとるようにとか考えていますので、委員会の方で再度確認させていただきます。
- <篠崎(達)> 総会に関して事前に委任状も含めて出席欠席の連絡もあったかと思いますが、そちらに関してたとえば出席で当日欠席された方がどれぐらいいたのか、またどういった理由で欠席になったのかわかれば個人的にじゃなくて担当の議長、委員長またはそちらの方に問い合わせをしてどうしても出席されるという欠席となるとなんか理由があつてのことだと思うので、そこらへんを聞くことによって出席率の向上にも役立つかと思います。また席の方も委員会ごとに席を設け、空席ができたところを恥をかくので、代理ではないですけれども全員に来てもらえるようなそういう設えも必要だと思います。今後も続く総会ですので、そこらへんも引き継ぎに入れていただけると助かります。
- <村上> 正副の意見で記載されていますが、出席の向上について結局みていると手法が変わっていないのです。正副の時も、何か今年の感想も踏まえて手法を提案してあげた方がいいよと言ったと思うのですけれども、そこが書いてないのでここは委員会でいろんな意見を出し合って、電話かけもそうですけれどもそれ以外にも何か考えた方がいいと思います。そうじゃないと変わらないと思います。検証については、グラフを作ってくださいよく纏めていただいたと思いますが、下の所の1年から3年、4から7年、8年以上とあり、ここで1から3年目の人をもっと重点的にと所見にも書いてあるのですが、8年以上で41%しか来ていない方が問題であるような気がします。逆にこの表をみると2008年度に入会したメンバーが100%来ています。なんで2008年度の人たちはこんなに意識が高いのかと思うのです。逆にいろんなアイデアを聞いてもいい話で、こうするといろんな検証方法がでてくると思いますので、いろいろと複合的な検証をして、導き出して欲しいと思います。

協-03 4月例会 法令会計事業 開催計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、宮林副議長より上程文の読み上げ。

- <金> 会場のレイアウトですが、仮に当日どこの委員会の人数が少ないとか、欠席したりとかそういった場合は、たとえば人数が何人より少なければくつつけるとか、それとも少ない人数でもそのまま実施するとかそういった基準とか設けているのでしょうか。質問です。
- <宮林> 今の所クイズの出題は議長、委員長対抗となっておりますので、基本的にこの形は維持したいという風に考えておりますが、一度委員会で検討はしたいという風に思います。
- <金> 委員長議長がクイズ大会を欠席の場合はどうされるのかお伺いしていいですか。
- <宮林> 委員会で検討いたします。
- <金> 理事会までにその辺のしっかりとしたものを付け加えておきますと、当日スムーズに対応できると思いますのでよろしくお願いします。
- <須山> 動員方法について意見と対応を読ませていただきましたが、委員会としての答えが委員会まわり。このシナリオをみさせていただくと結構いいできだと思っておりますので、是非この質問というかこのクイズ形式のものをメーリングで3回か4回に分けて、メンバーへの意識を高める方がいいのではなかと 생각합니다。いろんな質問を考えていると思いますが、それを流して答えを考えていただき、本番に来た時にはもっとわかるようにした方がいいのではないかと思いますので、それはご検討していただくようお願いください。
- <林> アンケートですが、最後に本日の事業でのご質問ご意見がございましたらご記入くださいとありますが、もし質問と意見がありましたらどういった対応をするのでしょうか。
- <宮林> 理事会までに検討してまいります。
- <村上> 一番は動員の所だと思えます。これは正副で言ったのでしようけれども、総会の先程の議案で検証の話をしましたが、同じグループなので是非総務委員会と渉外委員会の両方が、対内向けという意味では総会の出席率をどうしたら向上できるかの手法を検証してもらうことを、是非一緒に話を聞いてそれをうまく事業の方に活用し、みんなが行きたくくなるようなそんな動員を模索してほしいと思えます。

協-04 5月例会 第33回わんぱく相撲うつのみや場所開催計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、林常任より上程文の読み上げ。

- <中島(崇)> 理事長のご挨拶にもありましたが、事業計画、年間事業フレームに関しましては赤と黄色で塗りつぶし、進捗を確認することをお願いされているかと思っておりますので、そちらを議案の事業計画、年間の事業フレームに添付をしていただく必要がありますのでお願いいたします。あとは修正点に関しましては

林常任にご上程の際に言っていただいた所でございますので、大丈夫かと思
います。

<篠崎(達)> 二点あります。一点目ですが、ポスターチラシは今回から出て来たのでし
ょうか。これコンプラに関してなんですけど、イラストに対して文字が掛かり
過ぎているのが気になる感じがするので、こちらの方の確認と、もしも駄目
だった場合、再校正の方取り急ぎ取り行っていただきたいと思います。まず
コンプラ審査のご担当がいないので、そちら取り急ぎ確認をし、理事会まで
にはお願いします。それともう一点、目的の対内の方ですが、こちら目的と
して、自分たちの地域への帰属意識を醸成するとありますが、醸成するだと
達成度がどれぐらいなのかやむやで確立できないような形なので、たとえ
ば帰属意識を確立することを目的とかそういった形でもうちょっと繋げて
いただくといいのかなと思いました。こちらの方はお任せします。

<中島(崇)> ポスターの方に関しては確認を取っていただいて、変更があれば事前にメー
リングで配信いただいた方がいいのではないかと思います。

<金> 二点程あります。質問ですが、たから塾さんの正式名称はたから塾ですか、
それとも和太鼓たから塾ですか。

<林> 確認します。

<金> というのもポスターにたから塾と書いてあるのですが、これ正式名称なのか
疑問に思ったので、正式名称でないのなら修正する必要があると思いますの
でよろしくをお願いします。もう一点ですが、相撲で愉快的な宇都宮これどう
いう目的で登録したのでしょうか。委員会としてどういう目的があってこれ
をやろうとしているのか教えていただけますか。

<林> 目的としましては宇都宮らしさを子どもたちの心の中に残していきたいとい
うそういった思いがございまして、それで何か方法はないかと委員会で検討
しました。やはり形で残るものがあるといいと思ひまして、わんぱく相撲を
そんなに体験することがないので、それを持ち帰っていただいてそれをみ返
していただくことでその後にもわんぱく相撲をおもい起こしていただく機会
を作っていただければということで作成を検討しました。

<金> ポスターには載せられないのですか。もし載せられるようならば広報に入れ
た方が子どもたちの心にも残っていくでしょうし、認知してもらえるような
きっかけになるのではないかと思いますので、載せられるようであればどこか
のスペースに乗せた方がいいと私は感じたのでご検討ください。

<太城> 相撲で愉快だ宇都宮というのはJ Cとして取るのか。

<林> 団体ではないです。同じ団体で二つ取れないということがありましたので、
今回は委員会の名前で取るということで進めています。

<太城> それが可能ならいいのですが。委員会も団体の中の一部署なので、それを
市が認めてもらえるか、それも確認した方がいいと思います。

<林> それに関しましては確認してOKをいただいております。

- <黒川> 確認ですが、今ポスターをみているのですが、主催の公益社団法人宇都宮青年会議所の文字が体に掛かっています。これ確か体に文字がかかるとだめだったと思うので確認していただきたいと思います。あと去年やらせていただいた経験からすると、ポスターに締切日を入れるとよいかと思います。締切日を過ぎてもし込みが来たので、その少し検討いただければと思います。
- <太城> どこかに書いてあったのですが、今のお子さんは非常に名前が読みずらく、去年は一応付箋紙を貼ったりしたのですが、それでもなかなかわかりずらかったりするので、そういった対応をしっかりとされた方がいいと思います。意見です。
- <黒川> 現在委員会はどんな内容でやられていますか。
- <林> 委員会におきましては、まずはポスターを作成するために、公益参加者同意書の回収を進めているのが一番です。二つ目としては委員会メンバーの小学校周りというものをそれぞれ担当割でしまして、メンバーで回っているところです。大きくはその二つを今メンバーが一生懸命外回りを回っているところです。
- <黒川> 外回りもそうですが、委員長には一か月ぐらい前から言っているのですがけれども、3月入ったらシュミレーションをどんどんやっていった方がいいと私は言っております。参加者も計画では増えていますので、そのシュミレーションをどんどんやっていただきたいなと思います。後先日ちょっと陽南相撲道場の内藤さんに会ったのですが、今月から練習が始まるというので、できればそっちの方にも足を運んでいただいた方がいいのではないかと思います。
- <中島(崇)> 2014はいらないと思います。
- <林> 検討してまいります。
- <村上> 愉快ロゴは黒なのですか。
- <林> 委員会としては黒で行きたいというのが希望です。
- <村上> 理由ってあるのですか。
- <林> 黒というのが力強さをイメージするものだからです。
- <村上> 小学生の好きな色って何だか知っていますか。小学生が好きな色は男子が青、水色、赤で、調べればいっぱい出てくるもので女子は水色、桃色、青色の順番。対象者は小学生なので検討してもいいのかなと思います。それから事業従事者の件がありますが、正副の時の意見で接骨医院の先生だけで対応できますかという意見に対して、接骨医院の先生を三人に増やしました。
- <林> まずは人数が増えるということだけが人が増えた場合にも対応できるということと、後は確定できていなかったのですが、記念病院さんにお声掛けをして一度断られた経緯がありまして、接骨医院さんをあたったのですが、今メンバーの赤羽君から違う形で協力できないかを打診中です。

<村上> 病院は記念病院だけではないと思うのですが、あとこれに関連して緊急時対応マニュアルというのを作られているのですが、これマニュアルになってないと思います。これ緊急時に誰に連絡をするのか、具体的に名前とか電話番号を入れないとマニュアルにならないと思います。もう少し具体的にイメージしてもらい、仮に子どもが怪我をしてその場に自分がいたらどうしたらいいのか、だれにどう電話したらいいのか、責任者は誰なのか、そこら辺を詰めていただきたいです。

協-05 PR事業計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、橋本事務局より上程文の読み上げ。

<村上> 一点腑に落ちないのが、リビングマロニエには女性という言葉が目につくので、女性を含めというのはわかるのですが、参考資料に選定リストから決定までの経緯というのがありますが、これをみてもリビングマロニエを採用した理由しかなくて、たとえばトチベとかトチナビとかそれが同じように宇都宮市内にどれぐらい部数がくばれられていてどういう人たちがみていて、これに仮に載せるといくらかかって等々、そういう比較があるから最終的にリビングマロニエにしましたというのならわかるのですが、そういうのが無いのでただ広報として挙げたメディアの経緯はどうなのでしょうか。

<橋本> こちらの方は昨年私の方が広報の委員長をやっておりまして、その時に打診をした経緯を豊崎委員長に話をしまして、私の固定観念で私の意見を使ってしまったので、それは外そうという風になった経緯がありました。まさしく理事長がご指摘された通りで、詳細な検証をとという所まで行いませんでした。

<村上> もう一度再度確認してください。

協-06 PR映像作成計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

<金> 映像制作会社、これ僕をはじめ聞く名前なのですけれども、実際にこの業者方々の実績というかそういったものは多少調査されて選んだとは思いますが、そこらへんちょっとわかる範囲で伝えていただければと思います。

<橋本> こちら3社ですが、JCメンバーからのご紹介であります。実はどうしても期間が短かったというのもありまして、この企業にどれぐらい実績があるかという詳細な調査まではしておりません。

<金> 次の理事会までに資料としてあるとよりよいかと思います。もう一点ですが、委員会としてはこのRECスタジオさんで行きたいのでしょうか。この選定理由を教えてください。

<橋本> 1社あげるとすればRECスタジオさんかなというような形でございます。こちら文書の方で選定しましたとなっておりますが、こちら第一候補で考えているという風に訂正させていただければと思っております。実際の所は本日皆さまの意見を基にして、もう一回委員会で揉んで行きたいと思っております。

ます。現時点ではまだ決まったものではないという風に訂正させていただきたいと思っております。

<金> ではいつ決定されるのですか。

<橋本> 理事会までには決定したいと思っております。

<須山> どの業者でもそうですが、著作権というか編集権はこちらにもらえるのでしょうか。自由に加工できる権利とかこちらにもらえるのでしょうか。

<橋本> そちらに関しては基本的には映像をL O Mにいただいた段階で著作権は移動するというのは大前提ではあるのですが、ただ今副理事長にご指摘いただいたところの詳細までは詰めておりませんので、これは今後委員会で揉んで行きたいと思えます。

<須山> 参考までに映像会社が違う映像会社の画像、映像を編集するのは基本的にタブーなので権利をもらってください。それがないと映像を編集する度に5万とか10万とか取られるので。

<橋本> わかりました。

<林> スケジュールの件ですが、理事長作成が4月の常任理事会の後からという形になっていると思いますが、これだと理事会の時の月1回しか確認ができないスケジュールになっているので、その前に確認できる機会、もしくは政策を早めていただくことは可能なかどうかご確認いただきたいと思います。

<村上> 金常任がおっしゃっていましたが、選んでいく中でそれぞれの業者が今までに作った映像がすごくいい映像なので、それを是非、それぞれみられるようにした方がいいのと、これ委員会で決めていいのかなと思った印象があります。結局委員会が決めて映像を作ってもらい理事会にあげて、そこで理事に否決されたら倍お金を払うのかという話になるのです。できれば理事会の時にどの業者で行くのかというコンセンサスは理事からもらっておいたほうがいいです。あともう一点、常識的に考えて、映像を作ってもらったらお金を払う義務がもちろん発生してしまうので、ある程度の方向性を決めて、ある程度の所で審議もらいお金を払うという風に組織としてやっておかないとおかしくなってしまうと思います。そこらへんは業者ともしっかり打合せをしてもらい調整していただきたいと思います。ただ理事会で審議をもらえるレベルにまで今協議クールはもちろんしっかりとやってもらいたいです。あと一点重要なのは、作成計画、これ作成だけになっているのですが、ここで使うかというのが重要だと思うのですが、これ審議映像ができあがってから12月31日までどういう所で流すのか、もう少し戦略を立てていかないと費用対効果の問題が出てきてしまうので、そこはしっかりと記載した方がいいとおもいます。

協-07 6月事業 全国大会招致関連事業 開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、羽石議長より上程文の読み上げ。

- <中島(崇)> 実施日時、総会での決議が6月28日だったと思いますので、一週間前倒しで変更になっているかと思いますがこちら一応、上程の際に伝えていただいた方がよろしいかと思います。それから参加員数計画、こちらの方は3月度総数140名ということで前回統一させていただいております。こちら修正の方よろしくお願ひします。事業予算、大きい部分の事業概要の4番項ですが、こちらはリンクが飛んでいますが、それ以外の小さい事業予算部分こちらが飛んでおりませんので、こちらはリンクを飛ばすようにしてください。それから参考資料、先程のわんぱくの案件の事業計画と同じように年間事業計画の進捗状況こちら添付されておきませんので、赤黄色で塗りつぶし、状況確認をした資料を添付するようにしてください。それから依頼事項の部分ですが、担当のお手伝ひお願ひしますという形なのですが、こちらに関しましては役割分担表を作っていた方が各委員会よろしいかと思ひます。
- <金> 個人的に手法が好きなのですが、この手法がどのように宇都宮を好きになつていただく事業、またそれをコンサートに来た人が魅力の発信の担い手になる、これ対内目的にあるように地域の魅力について学ぶ等の結びつけがどうにも感じられないような、そのへんどのようにどのようにそこに結び付けていくのか、この手法を使ってというのを教えていただきたいと思ひます。
- <羽石> 地域の魅力ということもあるのですが、やはり宇都宮といえばジャズというのが一般的なかと思ひます。それでジャズと触れて、やはり宇都宮はジャズの町ということで結びつけの方を考えていきたいと思ひます。
- <金> 矛盾に感じるところが、ジャズを前面に押し出すのであれば身近に楽しむクラシック音楽なのかなと、ジャズをPRにしたいのであればジャズを出した手法に持て行った方がいいのではないかと感じましたので、ちょっと手法も含めて再検討をしていただく必要を感じましたのでよろしくお願ひします。
- <太城> 新規事業ですが、工夫と効果が一個しかありません。もっとあるはずなので、そこらへんもよろしくお願ひします。
- <林> ジャズの町ということですが、ジャズの町宇都宮というのはまだ浸透の具合がまだ低いと思ひます。たとえばこの事業に参加していただいた方は、自信をもって宇都宮はジャズが盛んなのだなというのを体験できる、自信をもって帰っていただけるようにそういう設えになると目的とうまくあつてくるのではないかと思ひますので、難しいと思ひますがご検討の方よろしくお願ひします。
- <篠崎(達)> 手法とか会場とかも選定されたうえで、この手法と内容は市の方でやっている市民文化祭、芸術祭とどう違い、こう魅力があるのだよというのをお聞かせていただければと思ひます。
- <羽石> 市民芸術祭はこの時期、ちょうど5月から7月でやっているのですが、目的といひますか、市民と芸術の発表というのを今日聞いてきたのですが、市民の文化の発展の機会というのもあり、その中で音楽については軽音楽、ジャズもそうですけれども、あまり音楽についての取り組みが少ないのかなと思ひます。内容をみると俳句、川柳、書道だったりとで、今回は音楽に特化した形で差別化をしようかなと思ひました。

<篠崎(達)> これからだと思いますが、方向性が決まった段階で、どれだけこの魅力を伝えて行くかというのはポスターとかそういったPR関係になってくると思うので、宇都宮JCだからできる、市民に市とやっていることが違うのだけよというのを構築していただければと思います。

<篠崎(達)> 参加動員数に関して、会場に合わせた動員数になっているのかと思うのですが、こちらの方、たとえば音楽関係者に話を聞くとこの会場は音がいいとかそういったこともわかる会場ってあると思うのです。実際私も日本JCに携わったことがあるのですが、あそこのサブホールだったら音がいいのだよなとかそういう感想もあるので、たとえば出演される方にどういった会場がお好みですかとかそういった確認も行っていただけると、今後の交渉に関しても親切かなと思うので、そこらへんも考慮して伝えてみてください。

<橋本> 今回事業目的が、市民が宇都宮をより好きになっていただく、事業によって市民が地域の魅力の発信の担い手になるとあると思うのですが。そもそもこのスギテツさんの実績の方をみてみますと、各小中高の生徒さんたちの共演というのがあると思うのですが、たとえばですが、今回作新学院のOBの方とは共演すると思いますが、それこそ地元の小中高の方と共演した場合、彼らにとっても非常に思い出になると思いますし、それこそ公益性や宇都宮を好きになってもらう一番の基礎になるのではないかと思います。意見です。

<太城> 簡単にいうとまだ芯ができ上がっていないのかなと感じます。上でジャズと行って下でクラシックコンサート音楽会というぐらいですから、もっと根幹をしっかりと作り、ショーは楽しそうだなと思うのですが、開催するにあたっての背景と目的がまだ足りないのかなって感じました。意見です。

<村上> 背景からですが、自分自身で所信を書いているのですけれども、自分が書いた所信と背景が繋がらないのです。そこを説明してもらってもいいですか。書き方の問題なのか、周りの人が繋がっているとすればそれはそれでいいのですけれど。

<羽石> 村上理事長の所信を読ませていただいて、全国大会を宇都宮で開催することによって地域の発展に繋がるとあったと思うのですが、そこを注目して書かせていただきまして、その中で今回背景が一番最後になるのですけれども、これが最終的に地域の発展になるのかなと考えてきました。

協-08 6月事業 全国大会招致関連事業 告知計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、羽石議長より上程文の読み上げ。

<太城> 全国大会関連事業という事業名ですが、先程の本体議案もそうですが、どういう風に関連してくるのがちょっと明確になっていないので、協賛後援協力依頼書にもそういった点が曖昧に記されていると、やはり先程の話じゃないですけど骨格ができないうちにこういうのを出すと結構冷たい目でみられるところがあるので、時期的にやらないといけないのであればもっともっと本体議案の骨格を固めていかななくてはならないのではないのでしょうか。

<篠崎(達)> 今回この告知計画ならびに予算(案)ということでみさせていただきますが、ポスターはない、予算はない、これで協賛云々やりたいということ

を、果たしてこれ議案の協議に値するのかなと少し思いました。当然本体議案の骨格ができあがっていないのはわかっているので、あえてここで出す必要があるのかなと思いました。このまま理事会の方に持って行ってしまうと、同じような意見が出てしまうと思うので、そこら辺はどのような形で理事会に臨むのかお聞かせいただければと思います。

<羽石> 今のところ本体議案の事業を委員会でみなおしてる段階で、何とか理事会までに纏まった形で議案の作成ができるのかなとっております。

<金> 本体議案ありきの広報計画だと思いますので、ただその本体議案ががっちり固まっていない中でも必ず広報に関してたくさんの手法があると思うので、その手法に対する効果というものも予算とかもあげられるだけあげて、調べられることは可能だと思いますので、たとえば今ポスター・チラシ・フェースブック・メールというのがあげられていますけれど、他にもたくさん引き出しを作っておいて、本体議案に出てくる予算によって一番効果があるものを選択できるように今調べておくようにした方がいいのではないかと思います。外部協力者等もそうだと思います。本当に議案がどうなるかによって変わってくると思いますので、調査の方できるかぎり行った方がいいと思います。意見です。

協-09 役員選挙管理委員会設置（案）について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

<篠崎(達)> 今後の流れをみてもコンサーレを使う形跡がないのですが、どのようなタイミングで使うのかなと気になりました。

<橋本> こちらですが理事会が終わった後の第一回選挙管理委員会の方をJ Cルームと書いてしまったのですが、そちらの方で使用させていただければと思います。

<村上> 本当に根幹の部分、定款再度確認よろしく申し上げます。

協-10 その他

なし

14. 報告事項

報-01 メディア掲載報告について

<橋本> メディア掲載広告がございましたので報告の方あげさせていただきます。こちらですね下野新聞で新春交流会が掲載されましたので報告させていただきます。

報-02 対外出向者について

<中島(崇)> ご一読ください。

報-03 年間公式スケジュールについて

<中島(崇)> ご一読ください。

報-04 2014年度カレンダーについて

<中島(崇)> ご一読ください。

報-05 会費納入状況について

<宮林> ご一読ください。

報-06 特別会員入金状況について

<宮林> ご一読ください。

報-07 次回開催について

4月8日(火) 19:00～ コンセーレ

15. 監事講評

<澤畑>

皆さんお疲れ様でございます。本日も総務委員会の皆様設営ありがとうございます。黒川監事が今日はスイーツの日だよと調べて来てまでもなぜか監事講評私にやってくれと言ってきたのですが、何を話そうかと思って少し考えて、この前市長例会で監事講評するとき本当は話したかったことがあったのですが、嬉しいことにビジターさんがいっぱい来てくれて話すのをやめたのですけれども、今回の常任からかわかりませんが、いよいよ新しい事業とも出てきたり、もう報告終わった事業が出てきたりします。報告というものは皆さん結構簡単に考えている方が多く、報告だからと簡単にさらっと流してくれと思っている方もいると思いますが、JCの事業というのは報告が終わって一つの事業が終了なのです。あくまでもその事業の当日というのは実施日であって通過点というレベルなのです。報告、ここで本当に目的に対しての検証をしていただいて、しっかりと次年度に引き継ぐということをやっていた上で、それをまたこの常任理事構成メンバーと理事構成メンバーがチェックをし、次に繋げていく。それで新しい事業が来年できたり、いろんな参考となり、継続であればよりブラッシュアップされるのです。先程冒頭に理事長がおっしゃっていましたが、新春ともあれが別に決まりの形ではないのだから、いろんな報告が出て、いろんな検証目的に対する検証だの検証手法があれば、また大きく変えてもいいんですよ。あれが別に決まりではないので、全然それを変えてもいいと思います。ちゃんとした検証をして、その検証を基に考えた結果であれば多分それはよいことであると思いますので、そういった点でも報告というのはしっかりとやっていただきたいと思います。それと今日気づいた点ですけれども、わんぱく相撲のロゴ、ステッカーいろいろ考えたと思います。悪いとは言いませんが、私的に

はジャズもそうなのですけれども、ちょっと話が飛びますがジャズの方は背景と目的をみればわかるのでそこを話しても仕方がないので事業としてあえて言いませんが、この手法の部分だけで何とかで愉快宇都宮、ロゴの方も相撲で愉快な宇都宮それをすごく使いたがるのはすごくいいのですけれども、あのロゴはいろんな人が使っていると、市から言われているのでしょうか、どうしてもあのロゴを出すと宇都宮市でやっている事業みたいにとらえる人がすごく多いと思うのです。市長例会とかもやっていますが、私たちは別に宇都宮市の出先の機関ではないわけで、市の出先の事業をするわけではない。ジャズもわんぱく相撲のロゴも悪いとは言いませんが、認知度の低いJCを変えようといま村上理事長が今年言っていることであるのだから、あえてそれを出さなくても、もっとJCを全面的に、JCがやっている事業なのだと恩着せがましくいうぐらいでもいいのではないかなと思います。どの事業に関しても議案のうまい逃げの技かと思っているのか、市でやっているから安全ですみたいな感じで通そうとしているのかわかりませんがそれは逆です。市の出先機関ではないのですからそれはやめた方がいいと思います。自分らで新しいことに取り組み、逆に市が今後真似してくるぐらいの事業をやるのが理想じゃないのかなと私は思っていますので、どの事業もそうですがもう一度検討し、考え直していただきたいと思います。

16. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第3回 常任理事会議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成：総務委員会